

別紙

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

医療法人社団 日本鋼管福山病院

(2) 事業所の所在地

広島県福山市大門町津之下1844

(3) 業種

8311 一般病院

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成23年年度を基準年度とし、平成24年度から平成28年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1, 基本的な考え方

当病院は、患者様への環境保全にも配慮した事業活動に努め、環境への負荷低減を推進して温室効果ガスを低減する社会づくりに貢献します。

特に、地球温暖化防止については、病院として患者様の協力を得た環境も考慮し、温室効果ガスの排出抑制に努めていきます。

2, 方針

- 省エネルギー、省資源の推進
- 新エネルギーの導入推進
- 環境保全活動への積極的な参加
- 職員への環境教育の徹底

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成23年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素	---	4,637	4,637

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成23年度)		削減目標		目標年度 (平成28年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO ₂	4,637	2.3	108	4,529	
非エネルギー起源CO ₂					
メタン					
一酸化二窒素					
フロン類					
温室効果ガス 実排出量総計	4,637	2.3	108	4,529	
温室効果ガス みなし排出量					
目標設定の考え方	エネルギー起源CO ₂ は排出量年0.46%の削減率 電気は他人から供給された電気の排出係数を使用				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO₂)，原単位置量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂							
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の軽減	変圧器統合で26,280kWh/年輕減	300kVATrの負荷移設による鉄損削減
2	電気使用量の削減	照明器具のLED化12,300kWh削減	蛍光灯x40台、ダウンライトx500台LED化導入
3			不要照明のこまめな消灯（照度測定）
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

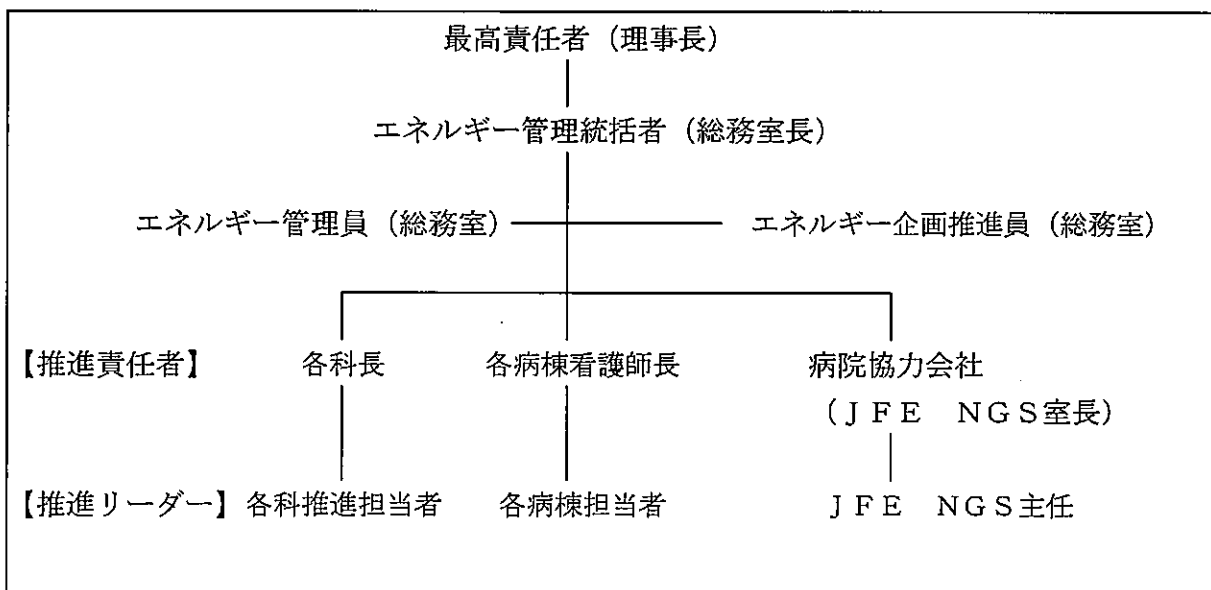
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

病院総務室のエネルギー管理・推進委員を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取り組み状況の把握・点検及び問題点等の検討を行い、省エネルギー推進会議において定期的に評価見直し等実施し、少しでも多くの温室効果ガス削減の継続的な向上を図る。

また、毎年度の取り組み状況、点検、評価等については計画書とともに公表していく。

(3) 計画書等の公表

- ・ 病院内の掲示版で公開する。
- ・ 病院内のP Cを使用し、内容の閲覧をする。